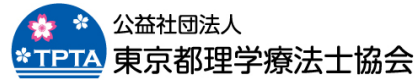


2026年4月2日



## 「心のバリアフリー」好事例企業に 東京都理学療法士協会が選定

公益社団法人東京都理学療法士協会（会長：豊田 輝）は、東京都が公表する令和7年度「心のバリアフリー」好事例企業に選定されました。当協会では、2015年より心のバリアフリーの推進を目的とした特別委員会「エスカレーターマナーアップ推進委員会」を設置し、職員・所属会員・地域住民等に対する理解促進の取り組みを継続してきました。これまでの約10年にわたる活動が評価され、このたび好事例企業として選定されました。



「心のバリアフリー」好事例企業認定書



「心のバリアフリー」に関する当協会の取り組み

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

公益社団法人東京都理学療法士協会エスカレーターマナーアップ推進委員会  
問い合わせ窓口：野崎展史、石川愛香 MAIL：esca.pttokyo@gmail.com

## 心のバリアフリーとは

「心のバリアフリー」とは、様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことです（「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画（2017年2月ユニバーサルデザイン 2020 関係閣僚会議決定）」より）。そのためには、一人一人が具体的な行動を起こし継続することが必要です。各人がこの「心のバリアフリー」を体現するためのポイントは、「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」では、以下の3点とされています。

- (1) 障害のある人への社会的障壁を取り除くのは社会の責務であるという「障害の社会モデル」を理解すること。
- (2) 障害のある人（及びその家族）への差別（不当な差別的取扱い及び合理的配慮の不提供）を行わないよう徹底すること。
- (3) 自分とは異なる条件を持つ多様な他者とコミュニケーションを取る力を養い、すべての人が抱える困難や痛みを想像し共感する力を培うこと。

東京都「心のバリアフリー」公式サイトでは、こうした意識の浸透を目指すとともに、従業員への意識啓発に取り組む企業等を「心のバリアフリー」サポート企業として登録しています。さらに、サポート企業の中でも、先進性・独自性・波及効果などの観点から特に優れた取り組みを実施している企業を「心のバリアフリー」好事例企業として公表しています。

（東京都「心のバリアフリー」サポート企業連携事業 好事例企業公表ホームページ）

<https://kokorobf-support.tokyo/koujirei/>

## 東京都理学療法士協会の主な取り組み

当協会の心のバリアフリーに関する活動は「エスカレーターの右側に止まって乗りたい」という、1人の左片麻痺を抱える障害者の声をきっかけに始まりました。障害を抱える方の心の声を代弁し、障害を抱える方と共存する社会を考える機会を創出する活動として2015年より取り組んでいます。主な取り組みは以下の通りです。

### ①エスカレーターの利用場面から考える心のバリアフリーの啓発

鉄道事業者や商業施設と連携し、呼びかけ活動やポスター掲示、オリジナルキーホルダー「止まって乗りたい人がいる」の配布を通じて、心のバリアフリーや障害理解の普及啓発活動を実施しています。障害当事者とともに活動を行うほか、鉄道事業者・商業施設・大学・行政など多様な関係機関との協力体制を構築し、継続的に取り組みを推進できる仕組みづくりにも取り組んでいます。これらの活動は、当協会の心のバリアフリーに関する取り組みの原点であり、現在の活動を支える重要な基盤となっています。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

公益社団法人東京都理学療法士協会エスカレーターマナーアップ推進委員会  
問い合わせ窓口：野崎展史、石川愛香 MAIL：esca.pttokyo@gmail.com

街頭アンケート



第36回東京都理学療法学会大会 併催イベント  
(2017年5月)

障がい体験・パラスポーツ体験(ボッチャ)



「チャレンジ！東京for2020 エスカレーター止まって乗りたい人がいる」  
(東京2020参画プログラム 2018年11月 光が丘IMA)

学習ノート  
(当委員会作製)



森ビル・東京都理学療法士協会・J-workout共催  
「ヒルズ街育プロジェクト 安全・安心なエスカレーターの乗り方教室」  
(2019年7月 六本木ヒルズ)

呼びかけ運動



片麻痺体験



「チャレンジ！東京for2020 エスカレーター止まって乗りたい人がいる」in練馬  
(2019年10月 都営交通 練馬駅)

2列乗降



②心のバリアフリーを学ぶ小学生を対象とした夏休みイベントの定期開催

小学生を対象に、障害の社会モデルや多様な立場への理解を促す夏休みイベントを、定期開催しています。これまでに48校から延べ62名の小学生が参加し、区教育委員会の協力のもと、学校・保護者へも広く案内を実施しています。児童からは「障害を抱えている人の気持ちを考える機会になった」「様々な事情を抱えた方が共に暮らしていることを考える機会になった」との声が寄せられています。



ボッチャ体験やワークショップを通じて心のバリアフリーを学ぶ子どもたちの様子

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

公益社団法人東京都理学療法士協会エスカレーターマナーアップ推進委員会  
問い合わせ窓口：野崎展史、石川愛香 MAIL：esca.pttokyo@gmail.com

なお、心のバリアフリーを学ぶまんが教材や動画教材は以下のサイトで無料公開しています。障害当事者やそのご家族、学校関係者、医療専門職、メディア関係者らによるプロジェクトチームの活動を通じて完成した教材となります。ぜひご活用いただけたら幸いです。

まんが教材「わけがあっこちら側に止まっています～心のバリアフリー～」

<https://www.pttokyo.net/esca/>



まんが教材「わけがあっこちら側に止まっています～心のバリアフリー～」

### ③会員等への心のバリアフリーに関する取り組み

当協会が主催する学会等で障害当事者を講師とする企画を積極的に採用し、理学療法士をはじめとする会員各位や学会等を企画するスタッフ・従業員が、心のバリアフリーへの理解を深める機会を創出しています。「障害者や高齢者をサポートするはずの我々理学療法士がこの視点をより大切にすべきだと改めて気づかされた。」や「医学モデルを中心とした臨床現場だけでは気づけない視点がたくさんあった」などの感想が聞かれるなど、障害の社会モデルへの理解を深めるとともに、支援する側の意識や行動を見直す契機を提供しています。

当協会は今後も、障害のある方々を支える最も身近な医療専門職としての強みを活かし、障害当事者とともに心のバリアフリーの理解普及に努めてまいります。また、障害の有無にかかわらず、誰もが安心して暮らし続けられる共生社会の実現に引き続き貢献してまいります。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

公益社団法人東京都理学療法士協会エスカレーターマナーアップ推進委員会  
問い合わせ窓口：野崎展史、石川愛香 MAIL：esca.pttokyo@gmail.com

## 公益社団法人東京都理学療法士協会について

### 【会社概要】

法人名：公益社団法人東京都理学療法士協会

所在地：東京都渋谷区代々木 1-58-7 ヴェラハイツ代々木 201 号

会長：豊田 輝

設立：1969 年

HP：<http://www.pttokyo.net/>



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

公益社団法人東京都理学療法士協会エスカレーターマナーアップ推進委員会  
問い合わせ窓口：野崎展史、石川愛香 MAIL：esca.pttokyo@gmail.com